

世界文化遺産名 ストーンヘンジ（イギリス）

（1）概要

供用中の道路をストーンヘンジ（イギリス）から遠ざけ、環境を改善。

参考

- ・英国ウィルシャー州のソールズベリー平原にある石器時代後期（約4,000年前）のものといわれる巨大石柱群



（2）課題

- ・ストーンヘンジに近接してA303号・A344号道路が通過しており、以下の課題が発生。
ストーンヘンジからの景観
ストーンヘンジを見ようと徐行する車による渋滞及び交通事故
渋滞する車の騒音と排気ガス（臭い）の観光客への影響
- ・遺跡への影響を最小限にするルート・構造変更が必要。



（3）文化財への対応策

- ・ストーンヘンジから自動車交通を遠ざける道路建設プロジェクトであり、ルート・構造変更による遺跡への影響を最小限にする案を検討中。

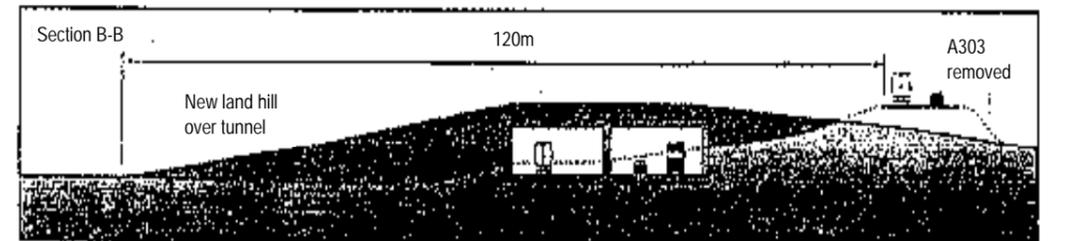
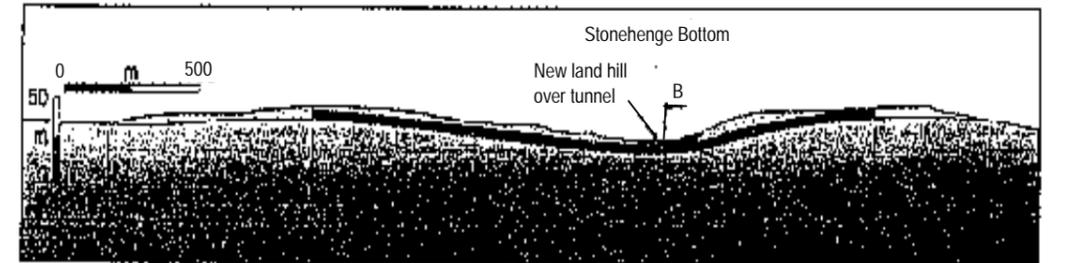
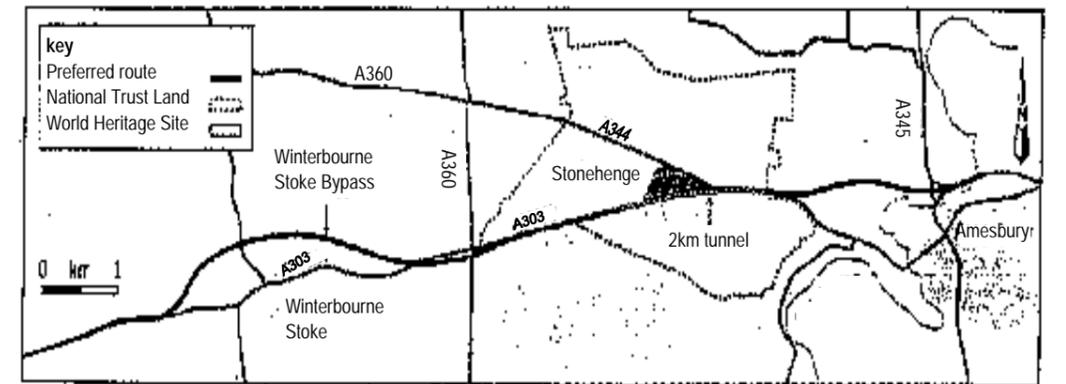
（4）経緯

- ・8年近くをかけて100回を超える会議でマスタープランを策定。（50以上のルート検討）
- ・A303号のトンネルルートは遺跡への影響を最小限にするために、細心の注意をもって選定中。
- ・マスタープランではA344号を閉鎖し、緊急車両用若しくは予備道路として緑化も検討。
- ・英国道路庁は、A303号の2km区間を地下化（トンネル）を検討（現道の廃止）。
- ・道路を遺跡からより離すバイパス案や、より深いトンネル案を主張するグループが存在。

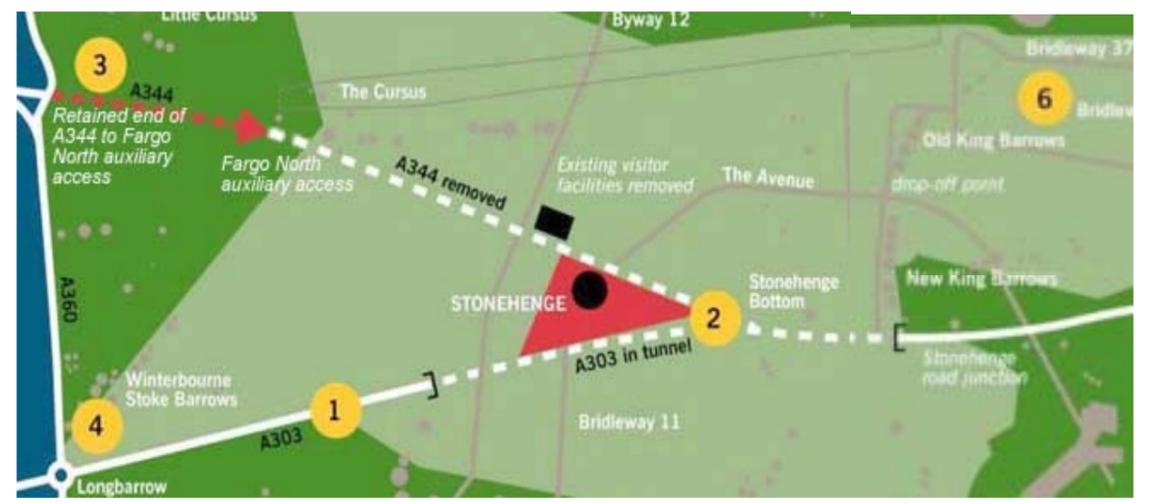
参考

- 1989 政府に審議会が置かれ、検討を開始する
- 1995 A303号の4kmトンネル案を検討〔建設費3億ポンド〕
- 1996.11 政府が適切ではないとみなし計画を撤回
- 1999.6 A303号の4車線化と2kmのトンネル化を発表（マスタープラン）〔建設費1億3千万ポンド〕
- 2000 環境影響評価
- 2002 公聴会を予定（主体：英国道路庁）
- 2005～ 工事開始予定（工事期間：約3年）

（5）計画図



ストーンヘンジ



出典：ユネスコ世界遺産センターホームページ
「ヨーロッパにおけるインフラ・住宅・年・公共サービスに関する最近の動き」2001.10荒巻英城